

う ない が ふち か ぐら

# 鵜無ヶ渚神楽



第2回



観音さんのお祭り 7月19日(木)

昔、鵜無ヶ渚に住むほとんどの人は、農業を主として生活していました。山間地の農業ですから、平地の農作業と異なり、つらい作業の連続で、疲れた体にもち打って働きました。

そのため、一年に一度の縁日、観音さんのお祭りには村じゅうが仕事を休んで、大騒ぎで楽しみました。

子どもたちは、親から日ごろのお手伝いをした褒美に、小遣いをもらって境内で買物をして、若い衆は張り切って祭りを仕切ります。

夜になると、お目当ての神楽の舞いが演舞されます。笛や太鼓に合わせて、獅子舞が舞い始めると、祭りは最高に盛り上がり、子どもやお年寄り、男衆、女衆もこぞって祭りを楽しみました。

神楽の舞いには、「下がり葉の舞い」「弊の舞い」「剣の舞い」「狂いの舞い」などがあります。

神楽が終わると、供養に上げたおだんごや花が、参詣者に配られます。村人たちは、翌年のお祭りを楽しみにして、うたげを後にするのです。



鵜無ヶ渚神明宮神楽保存会 会長

鈴木 覚さん (鵜無ヶ渚)

鵜無ヶ渚神明宮神楽保存会は、昭和四十一年に結成されました。

昔は、神楽のメンバーになるには、鵜無ヶ渚で生まれ育った長男しか加わることができませんでした。現在では、地区の人ならだれでも仲間に入れます。

主な活動は、神明宮のお日待ち、閭門浅間神社での奉納、観音さんのお祭りです。

これ以外にも、吉永北地区の文化祭や、菜の花の里まつりなど、地区の行事にも積極的に参加しています。

鵜無ヶ渚神楽の起源は、慶長年代の後半(一六一〇年)にさかのぼると言われています。約四百年の伝統と、農民の思いが込められたこの神楽を、これからも守っていきたいですね。

## こちら編集室

IT講習が市内各地で始まりました。どの会場も20代から高齢者まで幅広い年代の人の熱気があふれていて、電源の入れ方から丁寧に教えてくれています。我が家にもパソコンがあり、時々妻が仕事で使用しますが、始まるとすぐに

「ここどうやるんだっけ?」「この前教えたぞ!何度も聞くな!」「他人には親切なくせに!」...いつもこの繰り返しとなっています。

ぜひ、妻にもこのIT講習を受けてもらいたいと思っています。

人口 240,981人 (前月比+352)  
 男 120,006人 (+271)  
 女 120,975人 (+81)  
 世帯 81,832世帯 (+386) 5月1日現在  
 編集・発行 富士市総務部広報広聴課  
 〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100  
 ☎51-0123(代) ㊟51-1456

